

# 道母連だより

## 子ども応援社会の実現に向けて



北海道知事

鈴木直道

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様には、日頃から、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進のために御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

この度、4月の知事選挙において、道民の皆様のご支持をいただき、引き続き、知事として、道政を担わせていただくこととなりました。

私自身、持てる力を最大限尽くし、道民の皆様の命と健康、暮らしを守り抜き、そして北海道の確かな未来を創ってまいります。

物価高騰の影響の長期化など、道民の皆様の生活や事業者の方々

の経営環境が厳しい状況にある中、何より、暮らしの安心の確保を最優先に、価格高騰等経済対策を着実に実行していくとともに、優しくあたたかい社会づくりに取り組んでまいります。

二期目の公約に掲げました社会全体で子育てを支える「子ども応援社会」の実現に向けては、北海道の子ども施策の司令塔となる「子ども応援社会推進監」を新たに設置し、子ども施策を一元的に推進する体制を整えたところです。

これまでの乳幼児医療費助成や保育料の無償化に加え、保険適用外となる不妊治療医療費や、受診

にかかる交通費などについても北海道独自に支援していきます。

また、道営住宅の優先入居、さらには、道立施設全てで妊娠中や子ども連れの方を優先する窓口の設置に加え、優先駐車場や授乳室、おむつ交換場所の確保などに取り組む「子どもファストトラック」を推進し、子ども応援社会に向けた社会的な機運醸成を図り、オール北海道での取組につなげてまいります。

今後とも、道の関連政策を総動員し、国の制度を効果的に活用するとともに、市町村の施策と連携を図りながら、子育てに関わる負担の軽減に取り組んでまいります。私としては、北海道にとって何が最善かという視点に立ち、直面する様々な課題と向き合いながら、引き続き、全身全霊で取り組んでいく決意でありますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 第99号

発行日/令和5(2023)年9月1日  
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会  
〒060-0031  
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内  
電話 (011) 261-0447  
●題字は山高しげり先生 ●印刷 機アイワード



今後ともよろしくお願いいたします



2期目の抱負を伺いました



畑理事長よりお祝いの花束を



## 着任挨拶

北海道保健福祉部  
子ども応援社会推進監

野澤 めぐみ



この6月に子ども応援社会推進監に就任いたしました野澤でございます。貴会におかれましては、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営などを通じ、道内各地域でひとり親家庭の皆様への積極的な支援活動に御尽力いただき、誠にありがとうございます。また、北海道善行賞表彰への御協力や、道庁本庁舎などでの清掃業務において、毎日丁寧な作業いただいておりますことにも重ねて御礼申し上げます。

さて、この4月に国では「子ども家庭庁が創設され、子ども施策の基本的な方針等を定める「子ども大綱」策定

に向けた議論が進むなど、「子どもまんなか社会」の実現に向け、様々な検討や取組が開始されています。

道におきましても、子ども子育て政策をより一層強力に推進するため、この6月に「子ども政策局」を新たに設置し、これまでの1課体制から2課体制としたところです。国の議論の動向を踏まえつつ、ひとり親家庭の皆様へ寄り添った相談対応や、経済的自立に向けた支援などに、きめ細かに取り組んでまいります。

また、貴会を往訪させていただきました際に、畑理事長から、支援制度を知らずに困っている方を一人でも減らすことが大事だとの考えを伺ったところです。道としても、貴会を始め、市町村や関係機関と連携し、各種制度の分かりやすい周知に努めてまいります。

最後になりますが、今後もひとり親家庭の方々を取り巻く様々な課題について、貴会員の皆様の率直な御意見を伺う機会を設けながら、ひとり親家庭の方々はもとより、道民の皆様が安心して子育てし、働くことができるよう取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 再任挨拶

理事長 畑 和子

私たちは、ここ3年間あれこれ制約の中で生活してきました。新型コロナウイルス感染症は5類に移行、マスクも任意となり、にわかには活気づいてきたように思います。

みんなの拠点である母子福祉センターは、換気装置などの更新をしましたが、研修会開催の収容人数には至らないところです。

でも、道内各地のスポーツ少年たちは宿泊に利用されています。単位会、地区母連のみなさんにとりましては、自粛していた活動が再開でき、活発に展開されていることでしょうか、自粛期間中は事業もできず、最近は何となく物価高騰とやりくりも大変なことと思います。

困難な時こそ、母子団体の底力を発揮して、知恵をしぼり、工夫して、子どもたちが笑顔になる名案が出てくるのではないのでしょうか。

ひとり親家庭の支援に奨学金給付事業もありますが、基金を集めてその果実を母子家庭への奨学金

制度を設けた歴代の先輩たち、趣旨を理解してくださった北海道新聞振興基金さん、北洋銀行さんからもいただきお世話になっていきます。更に、北海道CGCみどりところの基金さん、ローソングループさんからもご支援いただいています。ひとり親家庭が、「知らなかった」「子どもがいません」ということにならないように努めていきたいものです。

それには、地元の会長さん、地区母連さんの協力が重要です。是非、お力を貸してください。

又、地域でも受けていることと思いますが、子ども達への食糧品、学用品の支援をたくさんいただいで感謝のほかありません。

加入率の減少、役員の高齢化、希薄な今日などの問題もあり、解決策が見いだせない悩みもかかえています。

コロナの状況を見ながら、感染防止に努め、油断せず、みんなが笑顔で楽しんでほしいと思います。

母子福祉センターで、お会いできる日が一日も早く来ることを願って頑張ります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 令和5年度役員紹介

## 理事・監事

理事長 畑 和子 (江別市)

理事 高橋ノリ子 (赤平市)

井川 友子 (乙部町)

甲谷 千春 (帯広市)

藤本 恭子 (伊達市)

甲谷由美子 (苫小牧市)

千葉 俊幸 (札幌市)

田中 和子 (函館市)

## 評議員

### (研修部)

小林 敬子 (知内町)

斎藤 睦 (平取町)

次藤ユウ子 (共和町)

中村 和子 (天塩町)

### (事業部)

三田 真美 (佐呂間町)

横戸智佳子 (稚内市)

工藤れい子 (せたな町)

桑田 恵美 (釧路市)

鳥越真由美 (安平町)

### (広報部)

安達 史子 (当別町)

田中 京子 (砂川市)

青木枝美子 (音更町)

原田さつき (旭川市)



監査退任の  
小笠原千伊子さん



外部監査人退任の  
池田昭次さん

## 大会日程

第67回東北・北海道地区  
母子寡婦福祉研修大会

開催日 令和5年9月2～3日

会場 秋田キャッスルホテル

令和5年度全国母子寡婦  
福祉研修大会

開催日 令和5年11月18～19日

会場 佐世保市アルカス

SASEBO

令和5年度全国統一活動テーマ  
「つながり人の輪、守ろう地域の輪」

## 各地で活動再開！

当別町母子寡婦会「日帰りバス研修旅行」  
～ホテルでバイキング&円山動物園～  
日 時 令和5年7月9日(日)



子ども7人 大人12人参加



猛暑の中、  
元気3人組

帯広市つくし会「母と子のつどい」  
～ディノスでボーリング&バーミヤンでランチを楽しもう～  
日 時 令和5年7月9日(日)



華麗なフォームです



子ども8人 大人8人参加



僕はお腹いっぱいです



すごい食欲！3歳です



さあ、いくよ！



スポーツの後は美味しい！



年齢差 75歳の腕相撲



事務局と21歳若者の食べ比べ



ストライクを狙って



それぞれ好きなメニューを



### 道南

#### 新たな夢で 広い世界を見る

苫小牧市 木村 楓海ふうか  
(東京都在住)

いま私は羽田空港国際線で働いています。働いていると言っても小売店での仕事ですが、毎日たくさんの方々に英語、韓国語、中国語で接客をしています。ここで働く前に専門学校で学んでいたのは、服飾デザインについてでした。高校時代は生徒会に所属し教師を目指していました。

一貫性のない経歴ですが、これらの経験はいま、私の力になっています。母は私がやりたいと言ったことを応援してくれました。教師になりたい、服飾学びたい、上京したい、海外行きたい。母の協力もあり、多くの経験を積みました。家族のために地元で安定した仕事を選んだ方がいいかと悩んで



服飾を学んだ頃の作品

奨学金を受給した子ども達の卒業後の状況を道母連までお知らせください。自薦・他薦でお待ちしています。



勤務先の羽田空港上空から

いた時も、好きなことをやりなさいと言われました。

いつ親孝行でこの気持ちを母に返せるかはわからないけど、電話で近況を聞く母は楽しそうで、私はそれが嬉しいです。

やりたいことへ真っ直ぐ向かえた、北海道母子寡婦福祉連合会の支援と母の応援で、いま私は広い世界を見ることができています。

### 道東

#### 地域や社会に貢献できる 仕事を目指して

音更町 田邊 裕汰  
(釧路市在住)

僕は今、実家を離れ釧路で一人暮らしをしながら大学に通っています。中学高校ではサッカーに打ち込み、キーパーとしてゴールを守り続けました。激しい練習と試合で装備品はすぐダメになり、母子会の皆様から頂いた奨学金で色々購入することが出来、とても助けられました。その当時、よく通わせて頂いた経験を生かし現在はスポーツ用品店でアルバイトをしながら公務員を目指し大学で勉強に励んでいます。



大学での勉強風景



令和5年度成人式で従妹と

僕には姉が2人いて、兄弟のように育った従兄弟が13人います。大勢の中で賑やかに育った事もあり人と接する事が好きで、僕自身が周りのみんなに助けられこれまでの人生があるように、どんな家庭環境や状況であっても夢や希望を抱き、助け合えるような世の中や社会であって欲しいという思いから、将来はそういった企画やプロジェクトに携わり、支えられる側から今度は自分が支える側として、地域や社会に貢献出来る仕事が見たいと思っています。

そして、今まで泥だらけのユニフォームの洗濯や送迎にお弁当作り、大学準備など苦勞をかけてきた母に親孝行が出来る社会人となって、安心させてあげたいです。



# 道央

## 感動を伝えられるミュージカル劇団を目指して

当別町 蝦名 里美  
(札幌市在住)



歌手になって大舞台上で歌いたい! そんな夢を持った3児のシングルマザー役

私は中学生まで、自分に自信が持てなく、夢もない、得意なこともなく、人前に入るのも苦手で引きこもりがちな生活を送っていました。「でも高校には行かなきゃ。」と、思っていたのを覚えています。自分の中では重い腰を上げ、勇気を振り絞って高校へ進学しました。不登校だった今までの生活から高校での生活は勉強だけではなく沢山の出会いや、自分の好きなものを模索する時間でもありました。初めて経験することが多々あり、私の小さな世界が広がった中で人前で声を出したり歌を歌うことに興味を持ちその世界へ進みた



いつも応援してくれる家族

ています。当時の夢を叶え、劇団での活動を仕事に生活しています。いつも公演を観に来て応援してくれる家族には心から感謝しています。感動を伝えられる劇団を目指してこれからも頑張ります。

いと強く願いました。今まで何の興味も示さなかった私を「やってみなよ。」と一番に喜び快く背中を押してくれたのは母でした。何不自由なく平凡な高校生活を送れたのは先生や友達の出会いといつも味方でいてくれた家族、そして奨学金の援助があったからだと心から感謝しています。その後、専門学校を皆勤賞で卒業できました。現在、私は札幌で活動するミュージカル劇団に所属しています。



# 夢と希望に奨学金を生

令和5年度も  
道新振興基金さん、北洋銀行さん、  
みどりところの基金さん、夢を応援基金さん  
から助成をいただき、奨学金が  
給付されました。

## 「夢を応援基金」奨学金

### 「ひとり親家庭支援奨学金制度」

- 対象** ひとり親家庭の中学3年生、高等学校、高等専門学校(1年生～3年生)等に在籍する生徒
- ①ひとり親世帯(母子家庭、父子家庭)であり就学に関して経済的に困難な生徒
  - ②夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方正な生徒
  - ③道母連の会員、及び入会を希望する子ども(生徒)
  - ④道母連理事長が奨学生として推薦するに相応しい生徒

**給付額** 月額3万円(返済不要)  
**募集数** 全国400名

**お問い合わせ** 道母連事務局  
TEL (011) 261-0447  
月～金/午前9時～午後5時

## ひとり親家庭奨学生募集

- ◎「北海道新聞社福祉振興基金・北洋銀行・道母連」奨学金
- ◎「北海道CGCみどりところの基金」奨学金

- 対象** ①道内(札幌市を除く)に居住し、道内の高等学校に在学中であって成績が優秀な児童で経済上就学が困難な生徒  
②その他上記に準ずる状態で奨学金を必要とする事情にある生徒

**給付額** 月額5000円/1年間(返済不要)  
**募集数** 約300名

令和5年度共同募金助成金は4ブロック研修会、  
広報誌発行に充当させていただきます。  
ご報告し、お礼申し上げます。







息子さん2歳、祖父母と盆踊りに

この度、北海道善行賞という名誉ある賞をいただき、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。思い返せば、この17年間、様々な試練がありました。メニエール病と

旭川市母子福祉連合会

高橋 史江

### 令和5年度 北海道善行賞(優良ひとり親家庭)表彰



いう持病を抱え、この先どうやって子供を育てていけばよいのだろうと涙し、一日中起き上がれない日々を過ごしました。いつも側で支えてくれたのが実家の両親です。子供の送迎やお弁当作りなど何から何までお世話になりました。おかげさまで完治になりました。おかげさまで元気になりました。仕事中でも参観日や行事に親が参加してくれて心強かったです。両親には感謝してもきれません。



趣味の野球をする息子さん(17歳)

表彰式は、息子と両親と共に出席させて頂きました。JRやバスだとめまいを起す私のために、父が運転してくれました。鈴木知事と家族で記念撮影もさせて頂き、夢のようなひと時でした。息子は思いやりのある優しい子に育ちました。今の私達があり、今



ひとり一人に知事から表彰状を



表彰式で知事のご挨拶

回受賞できたのも、両親や多くの方々のご支援のおかげです。私達親子を救ってくださる方々との出逢いが数々あり、幸せなことに感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に生きていきます。



北海道保健福祉部の方と受賞者との懇談会



筆者の高橋史江さん。ご両親と息子さんが同席され、知事と記念写真を



受賞者を代表して謝辞





新人8名の自己紹介



蔵王産業(株)さん、タケヤ刷子工業(株)さんの資材を使って実践講義

**令和5年度  
清掃作業従事者研修会**

日時 6月3日(土)  
9時～17時30分

場所 母子センター研修室

参加数 31名

**研修会初参加の感想**

**滝澤光世**  
日々の作業の不安や疑問点などの確認も出来、皆さんの話を聞き参考になりました。資料も丁寧に勉強していきます。

**佐々木雅代**  
初めて参加しました。アルカリ水について詳しく知ることが出来、とても参考になりました。日々の日常清掃に生かせる様頑張りしたいと思います。

**木村香代子**  
グループディスカッションで作業方法、物品の使い方を改めて知ることが出来て良かったです。

**實原正子**  
室内清掃が初めてなので、研修での講習は学ぶことが多かったです。ヒヤリハットは気をつけて今後に役立つよう精進します。



グループ討議、発表



社会保険労務士 千葉俊幸先生



熱心に研修する参加者



1歳から6歳までみんな兄弟姉妹のように過ごしています

**道母連事業報告**  
**江差たんぼ保育園**  
**岩見かおり**

GW明けから色々な事が解除され保護者の方からも「そろそろ行事が出来るのでは？」との提案があり、7月21日に3年ぶりの納涼会・お泊り会を開催する事になりました。カレンダーにお泊り会までのカウントダウンの日数を書き込み年長児は折り数えて心待ちにしています。6月になると暑い日が多くなりみんなミニトマト・キュウリの苗を買いに行き小さい畑に植えました。毎日水をあげ美味しい実がなるのを楽しみに



ダンゴムシがいっぱい！  
1歳のボクも興味津々



立派なワラビ、こんなに採ったよ！



七夕の願い事かかないですよに

してきます。今は七夕に向けて短冊にお願い事を書いたり笹かざりを作って玄関にかざっています。6人と少ない人数ですがだからこそ出来る事を沢山楽しみ、泣いたり、笑ったり、怒ったり自分の気持ちをいつでもストレートに表現し子どもが子どもらしく成長出来る環境でありたいと思います。





4年ぶりにお迎えしました  
「苗穂地区子ども樽みこし」

6月10日、休憩に立ち寄られました  
お祝い金とお菓子を差し上げました

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区  
小学生・中学生に  
新入学祝をいただきました



1年生です！



いつも有難うございます

… 宿泊・貸室 ぼわん …



7月 滝上町交通安全協会少年団

ご利用いただきました  
若く、明るい声が  
戻ってきました



6月 幕別清陵高校陸上部

道母連母子福祉振興基金へ  
ご芳志ありがとうございます  
厚真町 中田 匡様 (故中田八重さん) 子息  
基金累計額 (令和5・7・31・現在)  
一一一、〇一七、四三七円

おくやみ  
ご逝去をいたみ謹んで  
ご冥福をお祈りいたします。  
中田八重さん 令和5年5月22日  
元道母連理事 元厚真町こぶし会会長  
胆振東部地震で被害に遭われて  
も、「私は元気だよ」と、時々お電  
話に出て下さっていたのにと、北  
島会長からの訃報を告げる電話に  
驚きました。道母連の草創期を知  
る方がまた一人旅立ちました。  
松谷かおりさん 令和5年7月1日  
有限会社サンセイル職員  
道内各地で母子会の頒布事業を  
展開していたフクシ(株)に勤務し、  
現在はサンセイルで地域母子会を  
回り、知っている方も多いと思いま  
すが、突然旅立ちました。体調が  
悪いと入院して1ヶ月も経たない  
お別れでした。「ショーケースに新  
商品を入れたから買ってね！」と  
ニコツとした顔が忘れられません。

編集後記

突然地球上に現れた奇病に惑わ  
され、非常事態宣言のように姿の  
見えぬ敵に自粛を重ね、まるで悪  
夢のサスペンスドラマに加わって  
いるような静かに、密かに、最少  
行動を送る努力をしながらの生活  
が3年間続きました。

新型コロナウイルスの広がりも  
終息とは至りませんが落ち着きの  
兆しが見られるようになり、久し  
ぶりに編集会議を実施することが  
出来ました。

単位会の活動や各地域のイベン  
ト再開の話も伝わり、多少の喜び  
も感じられます。記事も事例も少  
ない中で今回は、子ども達の楽し  
む姿と、かつて奨学金を受けて社  
会に巣立った子ども達が、活躍し  
頼もしく成長している姿をお伝え  
することが出来ました。

最近では戦争、天災、無差別殺人、  
ネット犯罪、更にウイルスの悪戯  
まで加わり、戸惑いを味わう中で  
も夢を追いながら力強く生き、明  
日の日本を担う若者たちに期待を  
重ね、沢山のエールを送りたいと  
思っております。(青木枝美子)